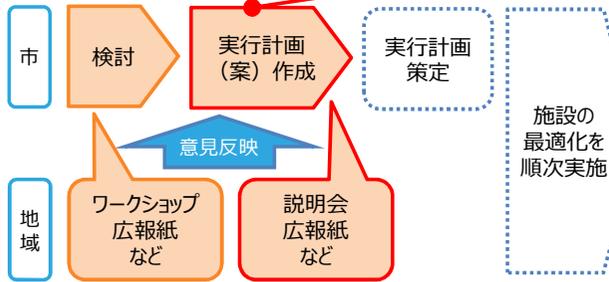


## 今後の進め方について

現在地はここです



○市は、実行計画（案）について、広報紙や自治協議会などで情報提供・意見聴取を行います。

○みなさんのご意見をふまえ、市で「木崎地域実行計画」を策定します。

○計画の実施は、引き続き、地域のみなさんや施設の利用者などに意見聴取を行いながら進めていきます。

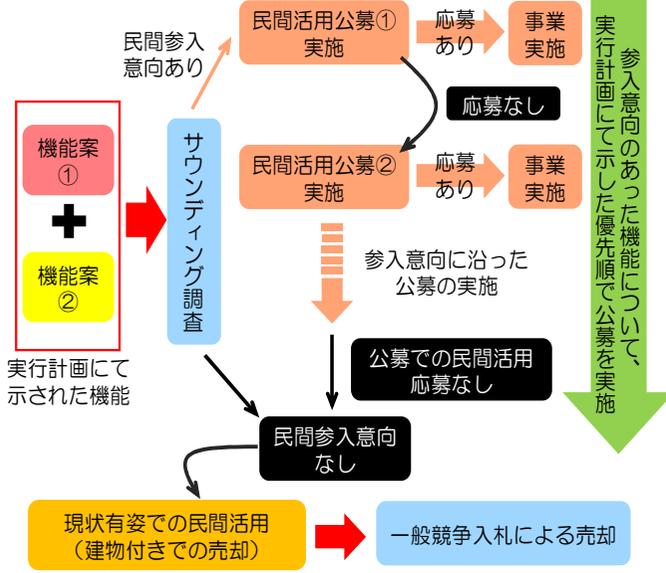
## 旧笹山小学校の活用方針の検討手順について

○右図は、民間事業者等の活用・運営を想定した計画策定後の検討手順です。

○ワークショップなどの意見をふまえ作成しました「導入を検討する機能案」に基づき、民間事業者等の参入意向・応募条件等を確認します。

○みなさんのご意見、民間事業者等の意向をふまえ、実現可能な活用・運営の方式を検討し、その方式に基づき民間活用の公募を実施していきます。

○また、計画策定後の取組みについても検討状況を地域のみなさんへご報告する説明会の場を設定する予定です。



**計画(案)について、意見を募集しています！**

**また、自治会や各団体などに、**

**ご希望に応じて個別説明を行います！**

**ご意見や、説明のご希望は3月19日(金)まで！**



< ご意見・お問い合わせはこちらまで >

地域別実行計画コミュニケーション事務局（北区地域総務課・財務部財産活用課）

郵便 〒950-3393 新潟市北区東栄町1丁目1番14号

電話 025-387-1175

メール chiikisomu.n@city.niigata.lg.jp

FAX 025-387-1020



令和3年3月発行

## 新潟市 財産経営NEWS 広報紙 第5号

< 発行者 >  
地域別実行計画  
コミュニケーション事務局  
●北区地域総務課  
電話:025-387-1175  
●財務部財産活用課  
電話:025-226-2387

(令和3年3月発行)

一緒に考えませんか？

## 木崎地域のまちづくり ～公共施設のこれから～

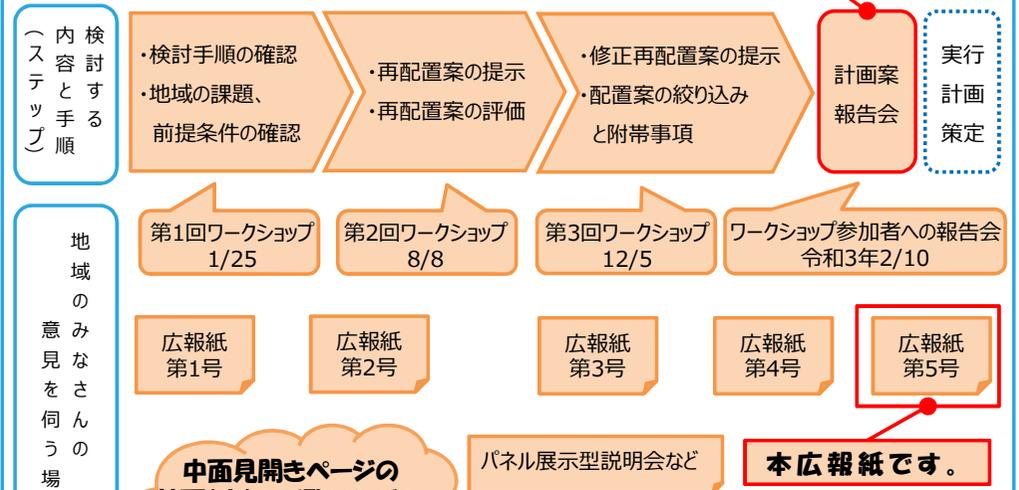
木崎中学校区では、児童数の減少に伴い小規模校となっていた笹山小学校と木崎小学校の統合を契機として、笹山小学校跡地の活用など、木崎中学校区の公共施設のあり方について、地域のみなさんと市がともに考えるワークショップを令和2年1月から開催し、令和2年12月に最終回を迎え、実行計画案の報告会を令和2年2月に行いました。

ワークショップをはじめ、「本広報紙」、「パネル型展示説明会」でいただいたご意見をもとに、市が検討を行い、地域の公共施設の将来のあり方を示す「木崎地域実行計画（案）」が作成されました。本広報紙をご覧ください、ぜひご意見をお寄せください。

## 木崎地域の公共施設のあり方について検討を重ねてきました

地域のみなさんと市がともに考えるワークショップは、コミュニティ協議会、自治会関係者、地域活動団体、小中学校のPTA、保育園関係者、地域教育コーディネーター、社会福祉協議会、公募による参加者などから構成され、地域の公共施設について議論がされました。ワークショップでの意見をはじめ、広報紙、パネル型展示説明会などで得られたご意見をもとに、「木崎地域実行計画（案）」が作成されました。

現在、ここまで進んでいます。



中面見開きページの計画(案)をご覧ください、計画内容について、ご意見をお寄せください

パネル展示型説明会など

本広報紙です。



【パネル展示型説明会の様子】 【第3回ワークショップの様子】



「シルクねえさん」  
北区特産サツマイモ  
シルクスイート  
キャラクター

【背景】

木崎中学校区では、児童数の減少に伴い小規模校となっていた笹山小学校と木崎小学校の統合を契機として、笹山小学校跡地の活用を含めた、木崎中学校区の公共施設のあり方についての実行計画の検討に着手し、令和2年1月から12月までの全3回開催しましたワークショップなどで得られた成果をもとに、実行計画を策定しました。

【再編の実施時期】

旧笹山小学校は長期間利用されないことがないよう、導入を検討する機能案に基づき、民間活用のサウンディング調査※1及び跡地活用の公募を実施します。また、横井の丘ふるさと資料館についても、木崎保育園利用者の安全性確保のために速やかな収集資料の移転を行い、解体を実施します。また、今後の詳細検討や財政状況により、再編時期や内容については適宜見直しを行います。

公共施設の再編計画

【コンセプト】 民間活力による学校跡地の利活用及び既存施設の有効活用

【施設の概要】

- 旧笹山小学校は民間による活用  
活用手法については調査及び公募による
- △横井の丘ふるさと資料館は、耐震性能が不足しているため、収集資料移転後に解体
- ◇木崎小学校、木崎中学校、木崎コミュニティセンター、木崎保育園、木崎保育園子育て支援センター、木崎ひまわりクラブは存続とする
- ※旧木崎ひまわりクラブについては、耐震性能が不足しているため、解体

【効果】

- 未使用施設の有効活用による地域活性化
- ▲木崎保育園利用者などの安全性の確保  
収集資料の適切な管理の実施
- ◆適切な維持管理を行いサービス機能を維持
- ◆木崎小学校・木崎中学校は学校開放によるスポーツ機能の確保
- ◆木崎保育園子育て支援センターは未就学児を対象とした利用・活用の場を確保

旧笹山小学校 導入を検討する機能案 優先順位※2

機能案検討優先順	導入を検討する機能案・方策	
① 民間活用による多目的活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内の多世代が立ち寄れる機能</li> <li>・地域内外からの集客性がある機能</li> </ul> 上記機能を満たす複合施設の経営知識をもつ民間企業の誘致	【個別検討事項】 ・スポーツ拠点として体育館などの一部を市民が利用できる機能 （上記機能の導入を前提とした民間活用の意向を確認し、採否を判断）
② 産業振興に特化した民間活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に開かれた産業振興施設としての機能</li> <li>・地元雇用の創出に寄与できる民間企業の誘致</li> </ul>	
①②共通事項	一時的な避難場所としての機能	

※1 サウンディング調査：公有地等の活用検討において、民間事業者から土地活用方法について、事前に意見や提案を聞くことにより、土地の市場性や活用条件等を把握する手法  
 ※2 「導入を検討する機能案」に基づき、サウンディング調査及び跡地活用の公募を実施した結果、民間参入の意向がないことが確認できた場合、活用に係る条件を設定せず、現状有姿での一般競争入札による売却を実施する。

再編を実施する施設の方針及びスケジュール

施設名	方針	年度		
		2021	2022	2023
旧笹山小学校	民間活用	サウンディング調査	跡地活用公募	供用開始
横井の丘ふるさと資料館	解体	資料移転	解体	→

その他の施設の方針

木崎小学校	存続	学校開放による体育館活用（スポーツ機能の確保）が可能
木崎中学校	存続	学校開放による体育館活用（スポーツ機能の確保）が可能
木崎ひまわりクラブ	存続	旧ひまわりクラブについては、耐震性能が不足するため解体
木崎保育園	存続	存続
木崎保育園子育て支援センター	存続	未就学児を対象に活用（子育て支援機能の確保）が可能
木崎コミュニティセンター	存続	存続

【今後の進め方】

- 計画を実施するにあたって下記事項に配慮しながら再編を進めます。
- 一時的な避難場所の確保
  - 避難（緊急避難や避難所生活）の考え方の普及啓発
  - 旧笹山小学校への交通アクセス（主に大型車両）

